

高すぎる  
松戸市の  
国保料

# 一世帯1万円の引き下げを

署名にご協力を

日本共産党



だれもが安心の松戸市へ

日本共産党松戸市議会議員

高木 健けん

全方

- ◆ 国保料の一世帯1万円引き下げを
- ◆ 国保証の取り上げはやめよ
- ◆ 減免制度を使いやすく
- ◆ 県の補助金復活を



県議会議員  
みわ由美

私も県政で  
がんばります

原因は国・県の補助金カットと冷たい市政

そもそも、国保料がこんなに高くなったのは、医療費抑制政策で国の医療費負担割合がどんどん減らされたせいです。国保会計への国庫負担は自民党政権のもとで50%から25%に半減させられました。

県も、北千葉道路、かずさアカデミアパークなど巨大開発のムダ使いを放置しながら、市の国保会計への補助金をどんどんカットして、ついには廃止してしまいました。

松戸市は低所得世帯が多いなか、昨年も日本共産党以外の政党の賛成で大幅値上げをしました。

ムダ使いやめ節約に努めれば財源も

松戸市の一世帯1万円の引き下げは10億円で、松戸市の予算(一般会計)1200億円のわずか0.8%。民間の区画整理事業への税金投入などムダ使いをやめ、事務機リース代などの節約に努めれば財源はつくれます。

国にも引き下げを要求

国政でも、日本共産党はこれまで、国の責任で一人1万円引き下げよう求めてきました。これは国全体で4000億円あればできます。義務もない「思いやり予算」をふくむ米軍経費3369億円や、必要のないダム建設などのムダ使いをやめれば実現できます。

国民健康保険証の取り上げをやめ、減免制度を使いやすく

生活苦から国保料を払いきれず、国民健康保険証を取り上げられ、医者にかかれず命を落とす...全国で重大事態が相次ぎました。これに対し、住民の運動と日本共産党の国会や地方議会での質問で、資格証明書(窓口10割負担)の発行

をやめる自治体があいついでいますが、松戸市ではいまだに発行が続いています。また、松戸市は保険料を減額あるいは免除する制度ができましたが、基準や手続きが厳しすぎて、適用者はゼロにひとしい状況です。

値上がりするばかりで...将来の見通しが無い。  
(60代女性)

国保が高くて生活にひびきます。  
(30代女性)

高い国保料がくらしを圧迫

日本共産党が、市民のみなさんにお願ひしましたアンケートでは、市政に望むことのトップが国民健康保険料の引き下げです。それもそのはず、松戸市はあいつぐ値上げで、大きな市のなかでいちばん高くなつてしまいました。



自治体	1人当たりの国保料
千葉市	89,419 円
船橋市	95,680 円
市川市	98,662 円
松戸市	101,140 円